

2010年12月 第345号

2010年  
12月号

静岡県浜松市南区増楽町20  
電話(053)447-3079  
スズキ関連労働組合連合会

発行人 加藤幸博  
編集人 小杉 尚



# スズキ労連

## 2010年労働諸条件改善の取り組み

### 各単組にて要求・要望書を提出

#### “12月末の回答に向け交渉スタート”

スズキ労連加盟組合は、スズキ労連の「2010年労働諸条件改善の取組方針」に基づき、部品輸送部門、販売部門に併せた形で各単組の取り組みを決定し、要求・要望書を提出しました。11月17日(水)のスズキ労働組合を皮切りに各単組交渉をスタートさせ、会社側への趣旨説明を行いました。今後、必要に応じて交渉を進め、各単組は、年内の回答引き出しに向け粘り強く交渉を行います。



組合結成1年目、初めて労働諸条件改善に取り組むスズキ販売労働組合自販青森支部。“働きがいのある会社づくり”に向けて、会社側に要望書を提出する工藤支部執行委員長。

スズキ労連『2010年労働諸条件改善の取り組み』 取り組み項目確認表

2010年12月3日  
スズキ労連 事務局

●：要求項目 ○：要望項目

組合名	統一項目										各単組独自の取り組み方針									
	60歳以降の就労について (無年金問題に対応するための労使委員会の設置)	労働災害・通勤災害特別補償 遺族特別補償について	年間カレンダーについて [販売部門]	労働協約・労使協定の締結・見直し (必要に応じ、確実に更新・締結)	START12のに基づき取り組みの実施	半日有給休暇取得回数の見直し [車体部品・輸送]	育児・介護休業右方改正への対応	時間管理に関する確認	職場環境の改善・福利厚生の充実	海外の働き方について (労使委員会の設置要望)	職場改善予算化について (労使検討)	組合掲示板の設置要望	資格等級制度改定に向けた取り組みについて	工場内の環境改善について [清掃委託・駐車・駐輪場設置、臭い・防臭・暑さ・雨漏り・粉塵・オイルミスト対策、均等化]	福利厚生について	新人事処遇制度のチェックについて	社用車不足の改善について	退職金制度の見直しについて	安全衛生管理観点よりAEDの設置について	
スズキ	○	●								○										
平岡ボデー	●	●			○	※	○	○	○											
スズキ部品浜松	●	●		○	○	●	○	○	○		○									
スズキ輸送梱包	●	●		○	●	●	○	○	○		○									
ベルソニカ	○	●		○	○	○	○	○	○			●	●	●						
スズキ精密工業	●	●		○	●	○	○	○	○						○					
スズキ部品秋田	●	●		○	○	●	○	○	○											
スニック	●	●		○	○	○	○	○	○					●			●			
小楠金属・熱処理	●	●		●	●	●	●	●	●					●						
エステック	○	●		○	○	○	○	○	○											
スズキ部品富山	●	●		○	○	○	○	○	○											
スズキ新潟販売																				
浜松パイプ	●	●			●	●			●					●				●		
岐阜スズキ																				
スズキ販売		○	○		○															
遠州精工	●	●			○	●			○					○					○	

※取り組み済(半日有給休暇取得回数制限なし)

### 《単組別要求・要望項目一覧》

## どうなる! - 2011年春闘 -

エコカー補助金の終了や厳しい円高にさらされている状況の中で、まもなく2011年総合生活改善の取り組み(春闘)が始まります。

スズキ労連も2月の中央委員会での提案に向けて方針案を策定していきます。

日本経済、自動車産業等取り巻く環境は先の見えない状況にあり、取り組み事態も厳しいものになることが予想されます。

そこで気になる労働界の動向について、最近のトピックスを紹介します。

### 連合:「全ての労働者の処遇改善」

連合は12月2日中央委員会を開催し、2011年春季生活闘争方針をまとめました。統一的な賃金改善は行わないものの、“賃金カーブ維持分をはかる事”に全力を挙げるとともに、全ての労働者のために、諸手当や福利厚生の改善を含む賃金・一時金を合わせた給与総額で1%上乗せする目安を示しています。

# 第39期政策研修会開催

自動車総連政策集  
「明日への提言」について学ぶ。



研修会冒頭、挨拶をする加藤会長



加盟組合三役を中心に80名が参加



講師の自動車総連の渡部部長

## 自動車総連の政策・制度課題への取り組み(抜粋)

わたしたち国民が安心して暮らし働いていくためには、賃金・労働時間といった労働条件の向上はもちろんのこと、公平・公正な税制や社会保障制度、雇用と物価の安定など、企業や産業だけでは解決できない社会全体のしくみを正していかなければいけません。

こうした政策・制度課題の解決に向けて、自動車総連は1989年より18回にわたる政策討論集会の開催などにより、取り巻く環境の組織内への理解促進を図りつつ、自動車総連として掲げる政策について議論してきました。

2009年夏の衆議院選挙結果によって、民主党を基軸とした政権運営がなされ、連合政策の実現可能性が責任の重さと同時に高まっている中、連合、金属量協(IMF-JC)を構成する主要差別として重要な役割を担う自動車総連も政策の一層の深掘りと精度向上が求められています。そこ自動車総連として取り組む政策を再定義し、取り組む範囲の絞込みを行うことを確認しました。

分類	位置付け	取り組む政策の範囲
最重点政策	自動車産業に深くかかわる政策で、自動車総連としての政策を有して政府/民主党等と直接政策協議を行っていく必要のあるもの	自動車関係諸税
		環境政策
		国内市場活性化
		道路・交通政策
重点政策	自動車産業と組合員の生活に広くかかわる政策であり、連合と連携して政策実現に取り組むもの	総合産業政策
		中小企業政策
		雇用・労働政策
		税制改革(一般税制)
		福祉・社会保障政策
一般政策	国全体にかかわる政策であり、連合政策をベースに必要に応じて自動車総連として問題提起を行うもの	経済政策、 行・財政改革、 対外政策など

11月13日(土)スズキ労働会館にて第39期政策研修会が開催されました。加盟労組の三役を中心に総勢80名が参加して開催された今回の政策研修会は、自動車総連の渡部部長を講師としてお招きして、まず、政権与党への責任が重くなった自動車総連の役割や立場について説明を受けました。

そして自動車総連の政策集「明日への提言」については、特に最重点政策である「自動車関係諸税」、「環境政策」、「国内市場活性化」、「道路交通政策」についてパワーポイントを用いてわかり易い説明を受け、参加者は総連の政策制度改善への取り組みについて理解を深めた様子でした。

上記自動車総連が掲げる政策の実現に向けて、連合や金属労協(IMF-JC)をはじめ、顧問・政治顧問、フォーラム議員との連携を強化するとともに、関係各省庁や政党への要請活動を行うなどの取り組みを今まで以上に強く続けます。

今後、スズキ労連としても、自動車総連の政策集に基づき、政策・制度課題への取り組みに積極的に参画して参ります

## 「ツキを呼ぶ魔法の言葉」を聞く！



講師の五日市 剛先生



「ツキを呼ぶ魔法の言葉」著書

11月13日(土)政策研修会の後、従業員やそのご家族も対象として、五日市 剛先生の「ツキを呼ぶ魔法の言葉」の講演会が開催されました。講演会には、総勢103名の方々から、五日市 先生の講演を熱心に聞いていました。

ツキを呼ぶには「よい言葉」を使うことが大切であり、これを実践するための言葉が魔法の言葉です。

魔法の言葉はたったふたつのことば。「ありがとう」「感謝します」です。イヤなことがあったら「ありがとう」、いいことがあったら「感謝します」と心から言うことができれば、いい人生がおくれますよという先生のお話は大変ためになりました。

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>

\*スズキ労連活動状況(労連ブログ)・スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙 共通パスワード… saw2007

更新しました!・・・「第39・40期の新体制内容」、「福利厚生にポーラ美術館割引追加」etc